

I. 聖書における三つの幕屋、すなわち幕屋の予表、幕屋の実際、幕屋の究極的完成が啓示しているのは、神のエコミーの目標が、団体の人々を得て彼の住まいとし、永遠における彼の表現と代行とならせることであるということです：

出40:34 その時、雲は集会の天幕を覆い、エホバの栄光が幕屋を満たした。

ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。

啓21:3 そして、御座から大きな声がこう言うのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にある。神は彼らと共に幕屋を張り、彼らは神の民となり、神自ら彼らと共にいて、彼らの神となる。

A. 旧約において、幕屋の予表は、かしらとしての個人のキリストと、からだ、召会としての団体のキリストの完全で全体的な啓示であり、それは召会生活のためのキリストの経験の多くの詳細を含んでいます(神の住まいとして、幕屋と宮は一でした)。

出25:9 私があなたに示すすべてのこと、幕屋の型とそのすべての調度品の型にしたがって、あなたがたはそれを作らなければならない。

列王上8:4 彼らはエホバの箱と、集会の天幕と、天幕にあるすべての聖なる器を運び上げた。祭司たちとレビ人が、これらを運び上げた。

B. 新約において、幕屋の実際は、肉体と成ったキリスト、すなわち個人のキリストであり、それはまた団体のキリスト、すなわちキリストのからだでもあります。彼の死と復活を通して、個人のキリストは拡大されて団体のキリストとなりました。それは新約の信者たちから成る召会であり、神の宮(神の家)とキリストのからだです。

Iテモテ3:15 それは、もし私が遅れた場合、神の家の中でどのように振る舞うべきかを、あなたに知ってもらうためです。神の家とは生ける神の召会であって、真理の柱また基礎です。

Iコリント12:12 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。

C. 幕屋の究極的完成は、聖書全体の結論として、新エルサレム、すなわち大いなる団体の神・人であり、手順を経て究極的に完成された三一の神と、彼の再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人との、永遠の、拡大された、宇宙的な、神性と人性の合併です。

啓22:17 その霊と花嫁が言う、「来たりませ！」。聞く者も「来たりませ！」と言いなさい。渇いている者は来たれ。欲しい者は、命の水を値なしに飲むがよい」。

II. 詩篇第84 篇は、キリストを幕屋の予表の成就として享受することに関する秘密の啓示です。この享受は、私たちが彼の中へと合併させて、幕屋の実際また究極的完成とならせます：

詩84:1 万軍のエホバよ、あなたの幕屋(複数)は、何と愛すべきものでしょう！2 わが魂は、エホバの外庭を慕ってまことに絶え入るばかりです。わが心もわが身も、生ける神に向かって呼ばわります。

A. 詩篇第84 篇の神の家に対するさらに深い愛とさらに甘い経験は、神の対処とはぎ取りの経験の後に来ます。またそれは、私たちの唯一の分け前としての神に対する経験によって、またキリストに唯一の地位が与えられることによって回復されます：

詩73:25 私は天でああなたのほかにだれを持つでしょう？ 地ではあなたのほかに慕うものはありません。26 私の肉と心は衰えますが、神は永遠に私の心の岩、私の分け前です。

B. 神の聖なる民を対処する目的は、彼らがあらゆるものから空にされて、ただ神だけを受け入れて彼らの獲得とし、神聖な三一をもって再建されて、神の傑作となり、神の永遠のエコノミーを成就して、彼を表現することです。エペソ3:10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり、11 神が私たちの主キリスト・イエスの中で立てられた、永遠の定められた御旨にしたがっているものです。

C. 神は信実であって私たちのすべての偶像を取り去り、私たちが神のエコノミーへと導いて、私たちがキリストを享受し、神が純粹に完全にキリストのパーソンの回復を持つようにします。

III. 詩篇第84 篇の内在的な内容は、肉体と成った三一の神、すなわち神・人としてのキリストを享受することに関する秘密の啓示です：

A. この秘密の啓示の中心は神の家であり、幕屋と宮によって予表されます。

B. キリストは三一の神の具体化として、幕屋と宮の予表の成就です：

1. この成就是、個人のキリストとしての彼の肉体と成ることにおいて開始しました。そして継続して団体のキリスト、大いなる神・人としての新エルサレムにおいて究極的に完成するに至ります。

2. 新約は、マタイによる福音書から啓示録まで、三一の神の肉体と成ることの全期間を扱っており、神聖な肉体と成ることの記録です。

3. 神の家の中で、肉体と成った三一の神としてのキリストを享受することは、幕屋とその調度品の配列によって描写されています(P18の図を参照)。

IV. 詩篇の作者が神の幕屋にいることを慕って、まことに絶え入るばかりであることは、詩篇の作者がどの程度まで神の幕屋を愛したかを示します。この愛は多くの試練を通して円熟に達しました。 2・火

V. 「あなたの二つの祭壇に、すずめでさえホームを見いだし、つばめがひなを寝かせるための巣を見いだしました。万軍のエホバ、わが王、わが神よ」(詩84:3) :

詩84:4 幸いです、あなたの家に住む者たちは、彼らはなおもあなたを賛美しています。セラ

5 幸いです、その力があなたにあり、その心にシオンへの大路がある人は。

A. 二つの祭壇(犠牲のための青銅の祭壇と金の香壇)が表徴するのは、肉体と成った三一の神が、すなわち神の具体化としてのキリストが、彼の増し加わりのために、完成した主要な働きであるということです:

出40:5 あなたは香のための金の祭壇を証しの箱の前に置き、幕屋の入り口のとばりをかけなければならない。6 また、全焼のささげ物の祭壇を、集会の天幕である幕屋の入り口の前に据えなければならない。

1. キリストの十字架の予告である青銅の祭壇において、神の御前での私たちの問題は、犠牲としての十字架につけられたキリストを通して解決します。これは私たちを資格づけて、幕屋へと入らせ(幕屋が予告するのは、肉体と成ったキリスト、入ることのできる三一の神です)、香壇で神と接触させます。

2. 至聖所の前にある金の香壇において、昇天における復活したキリストは香であり、私たちが平安の中で神に受け入れられるようにします。香壇での私たちの祈りを通して、私たちは至聖所へと、すなわち、私たちの霊の中へと入り、そこで証しの箱とその内容としてのキリストを経験します。

ヘブル9:4 そこには金の香壇と、全面、金で覆われた契約の箱が有って、その中には、マナが入っている金のつぼと、芽を出したアロンの杖と、契約の板とがありました。 10:19 こういうわけで、兄弟たちよ、私たちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。

3. 私たちはキリストに対するこのような経験を通して、幕屋の中へと、すなわち肉体と成った三一の神の中へと合併され、団体のキリストの一部となり、神の証しとして、神を現します:

Ⅰコリント12:12 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです。

a. 犠牲のための青銅の祭壇は、キリストが地上の務めにおいて、物質の領域の中で、完成した神の法理的な贖いと関係があります。

ヘブル9:14 まして、キリストが永遠の霊を通して、傷のないご自身を神にささげられたその血は、なおさら私たちの良心をきよめて、死んだわざから離れさせ、生ける神に仕えるようにさせないでしょうか?

b. 金の香壇は、キリストが天上の務めにおいて、神聖で奥義的な領域の中で、遂行する神の有機的な救いと関係があります。

ローマ8:34 だれが罪に定めるのですか？ キリスト・イエスは死んで、さらに復活させられ、神の右で、私たちのためにとりなしておられます。

ヘブル7:25 こういうわけで、彼を通して神に進み出る者たちを、彼は極みまで救うことができるのです。なぜなら、彼はいつも生きていて、彼らのためにとりなしておられるからです。

9:24 なぜなら、キリストは、まことのものの型である、手で造られた聖所ではなく、天そのものに入られたのであり、今や私たちのために、神の御顔の前に現れてくださったからです。

B. この二つの祭壇を通して、神の贖われた者、すなわち「すずめ」と「つばめ」は、彼らの避け所としての巣と、神と共に安息するホームを見いだすことができます：

詩90:1 主よ、あなたはすべての世代にわたって、私たちの住まいです。91:1 いと高き方の隠れ場の中に住む者は、全能者の陰に宿っている。

1. キリストの十字架は、青銅の祭壇によって予表され、私たちの「巣」、私たちの避け所であり、私たちはそこで煩いから救われ、私たちのひなを「寝かせる」、すなわち、福音の宣べ伝えを通して新しい信者を生み出します。
2. 私たちは、昇天における復活したキリスト(金の香壇によって予表される)を経験するとき、そのようなキリストの中で神に受け入れられ、神の家の中でホーム、安息の場所を見いだします。
3. この家は、手順を経て究極的に完成された三一の神と、彼のすべての贖われ、再生され、造り変えられた選びの民とが結合され、ミングリングされ、合併されたものであり、それは今の時代においてはキリストのからだであり、永遠においては新エルサレムであり、神と彼の贖われた者の相互の住まいとなります。

ヨハネ14:1 「あなたがたは心を騒がせてはならない。神の中へと信じ、また私の中へと信じなさい。2 私の父の家には多くの住まいがある。もしそうでなかったなら、私はあなたがたに話したであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのである。3 私が行って、あなたがたのために場所を用意したなら、再び来て、あなたがたを私自身に迎える。私がいる所に、あなたがたもいるようになるためである。4 私がどこへ行こうとしているか、あなたがたはその道を知っている」。 5 トマスは彼に言った、「主よ、あなたがどこへ行かれるのか、私たちにはわかりません。どのようにして、その道を知ることができるでしょうか?」。 6 イエスは彼に言われた、「私は道であり、実際であり、命である。私を通してでなければ、だれも父に来ることはない。

VI. 「幸いです、あなたの家に住む者たちは、彼らはなおもあなたを賛美しています。セラ…万軍のエホバよ、幸いです、あなたに信頼する人は」(詩84:4, 12):

A. 予表において、家は全体としての召会であり、幕屋(複数)は諸地方召会です。

I テモテ3:15 それは、もし私が遅れた場合、神の家の中でどのように振る舞うべきかを、あなたに知ってもらうためです。神の家とは生ける神の召会であって、真理の柱また基礎です。

啓1:11 それはこう言った、「あなたが見ていることを巻物に書いて、七つの召会に、すなわち、エペソに、スミルナに、ペルガモに、テアテラに、サルデスに、ヒラデルヒヤに、ラオデキヤに送りなさい」。

B. 主を賛美することは私たちの生活であるべきであり、私たちの召会生活は賛美の生活であるべきです。

詩22:3 しかし、あなたは聖であって、イスラエルの賛美の上に座しておられます。

I テサロニケ5:16 いつも喜んでいなさい。 17 絶えず祈りなさい。 18 あらゆることで感謝しなさい。 なぜなら、これがあなたがたに対する、キリスト・イエスにある神のみこころだからです。 19 その霊を消してはいけません。 ピリピ4:4 主の中でいつも喜びなさい。 私は繰り返して言います。 喜びなさい。

C. 召会生活において、私たちは神に信頼して、自分自身や私たちの天然の人の才能に信頼しないで、困難な状況を解決します。 II コリント1:8 兄弟たちよ、アジアで私たちに降りかかった患難について、あなたがたに知らずにいてもらいたくありません。 すなわち、私たちは極度に、耐えられないほどに圧迫されて、生きる望みをさえ失ったほどです。 9 実に、私たちは自ら、自分自身のうちに死という答えを持ちました。 それは、私たちが自分自身に信頼するのではなく、死人を復活させる神に信頼するためでした。

VII. 「幸いです、その力があなたにあり、その心にシオンへの大路がある人は」(詩84:5):

A. シオンへの大路は、私たちが神の家としての召会の中へと入るのを意図することを表徴します。また、シオンへの大路は祝福された大路であって、これを通して私たちは、肉体と成った三一の神の完成されたもの(幕屋における調度品によって予表される)を追い求めます。

B. 一方で、私たちは神の中へと入りました。もう一方で、私たちはなおも神の中へと入る大路にいます。

C. シオンへの大路が私たちの心にあるとは、私たちが召会の道を外側で取るのではなく、内側で取る必要があることを意味します。私たちは内なる命の中に深くいるとき、必ず召会の道にいます。シオンへの大路は、私たちの心の内側にあります。

D. シオンは神がおられる所であり、至聖所です。勝利者はシオンとなり、主の回復はシオンを建造することです。 詩84:10 まことに、あなたの外庭にいる一日は、よその千日にもまさります。 私は悪しき者の天幕に住むよりは、むしろ、わが神の家の門口に立つことを選びます。

VIII. 「彼らはバカの谷を通っても、そこを泉とします。まことに、前の雨は祝福をもってそこを覆います」(詩84:6):
詩84:7 彼らは力から力へと進み、おのおのシオンにおいて神の御前に現れます。

- A. 「バカ」は「涙を流す」を意味します。一方で、シオンへの大路にある者は、神の中で強められます。もう一方で、彼らはサタンの反対を受け、サタンは彼らが迫害を受けるようにします。
- B. サタンによってひき起こされる問題と迫害は、大路を涙を流す谷とならせることができます。この特殊な用語は、詩篇の作者が神によって取り扱われており、彼によってはぎ取られていたことを示します。
- C. シオンへの大路は外側の、表面的な、安っぽいものではありません。私たちは代価を払って召会の道を取らなければなりません。ピリピ3:7 しかし、私にとって益であった事柄を、私はキリストのゆえに、損失と勘定するようになりました。
- D. 私たちがバカの谷を通るとき、神はこの谷を泉とされます。この泉はその霊です。
- E. 私たちはシオンへの大路で涙を流せば流すほど、ますますその霊を受けます。私たちは涙を流しているとき、その霊で満たされ、その霊は私たちの泉となります。
- F. 涙を流す谷を通して召会生活の中へと入って来る者は、この涙を流すことが最終的に、彼らにとって大きな祝福となることを見いだします。この祝福はその霊です。
- G. 彼らが流す涙は彼ら自身のものですが、これらの涙は泉をもたらし、それは前の雨、すなわち祝福としてのその霊となります。

IX. 「彼らは力から力へと進み、おのおのシオンにおいて神の御前に現れます。…まことに、あなたの外庭にいる一日は、よその千日にもまさります。私は悪しき者の天幕に住むよりは、むしろ、わが神の家の門口に立つことを選びます。まことに、エホバ・神は太陽また盾です。エホバは恵みと栄光を与え(ます)」(詩84:7, 10-11 前半):

- A. 私たちは召会生活の中で前進すればするほど、ますます力を得ます。
箴4:18 しかし、義人の路は夜明けの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。
- B. 私たちの奉仕が内在的に神のみこころにしたがって召会生活の中にあるなら、毎日は神の目に多くの日の価値があります。ヨエル2:25 群がるいなご、なめ尽くすいなごと食い尽くすいなごとかみ切るいなご、すなわち私があなたがたの間に送った大軍勢が食べた年を、私はあなたがたに償い戻す。
- C. 私たちが神の家に住むことの祝福は、肉体と成って究極的に完成された三一の神を享受することであり、私たちに命を供給する太陽として、私たちを神の敵から保護する盾として、私たちの内なる享受のための恵みとして、光輝における神の外側の現れのための栄光としてです。

経験(ビジネス・ライフ編):

- ① 詩84:3 あなたの二つの祭壇に、すずめでさえホームを見いだし、つばめがひなを寝かせるための巣を見いだしました。万軍のエホバ、わが王、わが神よ。4 幸いです、あなたの家に住む者たちは、彼らはなおあなたを賛美しています。セラ 10 まことに、あなたの外庭にいる一日は、よその千日にもまさります。私は悪しき者の天幕に住むよりは、むしろ、わが神の家の門口に立つことを選びます。

召会の中で、私たちはまず避け所を見いだし、次にホームを見いだします。私たちは救われて召会の中へと入って来る前、さまよっていてホームがないだけでなく、安全、保護、隠れ場もありませんでした。私たちは召会に来たとき、直ちに青銅の祭壇、キリストの十字架に来て、そこで私たちの問題は解決され、私たちは隠れ場、避け所を見いだししました。私たちは十字架の中に隠れました。そして続けて神と接触し、香壇で祈ったとき、私たちはホームで安息しているという感覚を持ちました。

召会生活において、あなたは、避け所と安息を与えるホームを持つことができます。避け所とホームのゆえに主を賛美します。召会生活を離れては、安全な場所はなく、安息を提供する場所もありません。ビジネス・パーソンとして、あなたには社内での競争や、競合他社との競争があり、急いで物事を行わなければなりません。このような状況で、あなたが避け所やホームを持つことができれば、それはすばらしい福音となります。したがって、あなたはビジネス・ライフに振り回される召会生活ではなく、召会生活を中心にビジネス・ライフを送ってください。そうすれば、召会生活によってあなたのビジネス・ライフは祝福されます。

- ② 詩84:6 彼らはバカの谷を通っても、そこを泉とします。まことに、前の雨は祝福をもってそこを覆います。7 彼らは力から力へと進み、おのおのシオンにおいて神の御前に現れます。

私たちがバカの谷を通るとき、神はこの谷を泉とされます。私たちが大路を通して神の家に行くなら、問題と迫害が私たちに臨み、そのようなものが私たちに涙を流させるでしょう。しかし、神は私たちの涙を泉へと変えてくださいます。涙を流す者だけが泉を持ちます。私たちが涙を流せば流すほど、泉はますます大きくなります。…涙を流す谷を通して召会生活の中へと入って来る者は、この涙を流すことが最終的に、彼らにとって大きな祝福となることを見いだします。この祝福はその霊です。

ビジネス・ライフには、必ず苦難が伴います。例えば、理不尽な扱いを受ける、人に騙される、失敗を押し付けられる、業績が上がっても給料に反映しないなどがあります。あなたは、これらの苦難に遭遇する時、涙を流すかもしれません。しかし、神を賛美します。神はあなたの涙を泉に変えることができます。苦難の中で召会生活を維持し、主と共に忍耐すれば、主の 때가満ちると、涙は必ず祝福の泉に変えられ、あなたは大きな祝福を見出すでしょう。

615 召会—引き付ける

1. 何とあいすべきや！ ころしたういえ！
なが臨在せつにもとめ、わがころさけばん。
2. 祭だんのかたわら、すずめ住みかを得、
つばめはひなをかえす 巢をば見いだせり。
3. すずめ、つばめのようによわく、ちいさくも、
主のいえに住み、さい壇、香壇のさち享受す。
4. ちから、なれにあり、前途もかえりみず、
ころシオンのおお路にあるひと、さちなり。
5. なみだのたに間も、いずみある地とし、
あきのあめ、いけとなり、しゆくふくは満ちる。
6. ちからにちから得、シオンでかみに会い、
もとめし主ご自しんとめぐみをたまわる。
7. 主のいえのひと日、よその千にちにも
まさるゆえ、ねがわくは、かどもりとさせよ。
8. わが日、たてなる主、めぐみ、えい光あとう；
ともにませばひつよう、ことごとく足れり。
9. なおくあゆむひと、良きものを受ける；
主にたよるひと、さいわい、めぐみ、栄光受ける

851 THE CHURCH-HER ATTRACTION

- 1 How lovely is Thy dwelling-place!
Within Thy courts I long to be;
Thy presence, Lord, my spirit craves,
For this my heart cries out to Thee.
- 3 Men, as the sparrow, frail and small,
When living in Thy house find rest,
Relying on the altar's blood,
Enjoying there the incense blest.
- 4 How blessed are those men indeed!
Trusting in Thee they are made strong;
Highways to Zion in their hearts,
The way they care not, rough or long.

615 召會

1. 主，你居所何等可愛！我心渴慕你的院宇！
切望得到你的同在，我的心腸向你呼籲。
2. 在你祭壇所在之處，並你香壇所在之所，
麻雀找著可居房屋，燕子找著菴籬之窩。
3. 微弱雖如麻雀、燕子，住在你殿，便為有福！
憑著祭壇贖罪價值，享受香壇所有好處。
4. 因著靠你而有力量，前途險阻毫不思顧，
錫安大道心中想往，如此之人，便為有福。
5. 雖經巴迦，流淚之谷，亦使變成泉源之地，
並且蓋滿秋雨之福，成為路中福分之一。
6. 他們行走，力上加力，要到錫安朝見主神；
如此尋求你的自己，也需你來垂顧賜恩。
7. 在你院宇一日之留，勝住別處千日之久，
寧在你殿看門守候，不在惡人帳棚住留。
8. 你是日頭，你是盾牌，你要賜下恩惠、榮耀，
以你自己和你同在，滿足我的一切需要。
9. 你未留下一樣好處，不給行動正直的人；
倚靠你的，便為有福，必得恩惠、榮耀無盡。

- 5 Passing the weeping valley they
Make it a place of springing wells;
The rain with blessings covers it
And in the way God's mercy tells.
- 6 From strength to strength they go, and all
Before the Lord in Zion meet;
Thus ever seeking Thine own self,
They need Thy care and grace replete.
- 7 Better a day within Thy courts
Than days a thousand I would tell;
I'd rather at Thy threshold stand
Than in the wicked's tents to dwell.